



冬本番で、インフルエンザが流行ってきましたね。特に卒年の方々は国試に向けて追い込みの時期にやってきたと思います。体調に気をつけて、本番に向かって頑張ってください！

さて、1年生のみなさんはもうすぐ1年経ちますが、みなさんの中にはこういう看護師になりたいといった看護観はありますか？実習先などから、憧れの先輩に出会えたりしましたか？目標をもって取り組むことが出来るととても良いですね。

今回は看護師になって1年を経た職員より、看護観をご紹介します。皆さんも是非自分の中に看護観を見つけてみてください♪

## 私の看護観（回復期リハビリテーション病棟・2年目看護師）

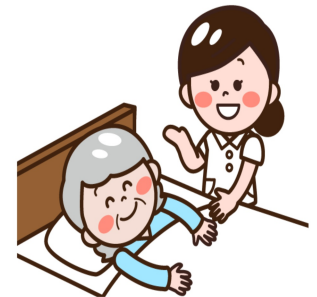
病棟で働き始めて最初に感じたことは、患者さんとの関わり方の難しさでした。疾患・病態や性格・人生背景・生活状況も様々である事に加え、入院期間が1ヶ月～半年と長いことがリハビリ病棟の特徴であると分かりました。そのため他職種を含め看護師は患者さんの生活において環境因子の一つであり、患者さんに大きな影響を与えるという事を感じました。私は患者さんに関わる際、特に朝の検温の時には表情や声のトーンを明るくするように心がけています。初めはなかなかできませんでしたが、症状の話だけでなく、雑談も交えながら関わるように心がけています。そうしていくことで患者さんの訴えを聞くことが出来たり、話しやすいと言って頂くこともあります。ただ話をするだけでなく、目的をもって情報収集もしていき、そこで聞くことができた患者さんの思い等を基に患者理解を深められるようになりたいです。そういった関わりが日々の援助・退院支援にも必要になってくると分かりました。

こちらの接し方一つで患者さんの気持ちや態度も大きく変わり、疾患も関係し上手いかない事もあります。しかし、患者さんによって対応の仕方は様々ですが、平等に接するという根本的な所は忘れないように今後も関わって行きたいです。

今は患者さんを受け持たせていただいているため、疾患についてだけでなく、今までどのような生活をしてきたのか、退院後はどのような生活を望んでいるのかなどの情報を収集していくことの大切さを学ばせていただいています。また、患者さんが望む生活を提供するため、社会資源についての知識ももっと身につけていかなければいけないと感じます。

患者さんから「頼りにしているよ」という言葉を掛けて頂くと、患者さんにとって看護師は未熟でも看護師なのだと責任を感じるとともに不安にもなります。

看護師とは何なのかということをも自分なりに考えても正直具体的に言葉にする事が難しいけれど、今後も自分に足りないところは勉強していき、現場で先輩方の姿からも学んでいきたいです。



### 国試問題

体温に影響しないものはどれか

- 1.運動
- 2.食事
- 3.ふるえ
- 4.不感蒸泄
- 5.精神性発汗

(第105回 国試問題)

答えは次回に掲載します！

### 月1学習会

日時:1月18日(土)14:00~16:00  
国試対策「内分泌・代謝疾患」  
講師:大塚医師 場所:みどり病院

国試対策講座です。当院の医師を講師にお呼びし実際の国試問題を基に解説します。疾患についての詳しい解説になるので、卒年以外の方も今後の勉強に役立つものになりますよ！希望される方は下記連絡先まで♪

ブログも随時更新しています♪

### お問い合わせ

岐阜勤労者医療協会  
みどり病院  
学生担当:亀田 果玖

〒500-3113  
岐阜市北山1-14-23  
MAIL:midori-nurse@gifu-min.gr.jp  
携帯:090-1621-0243

